

地下鉄短信(第245号) 平成28年7月5日発行

編集 (一社)日本地下鉄協会 責任者 向田正博
電話 03-5577-5182(代) FAX 03-5577-5187



記事○ 「地下鉄施設の保守、維持等に関する研究会(第9回土木部会)」の開催

○ 「地下鉄施設の保守、維持等に関する研究会(第9回土木部会)」を開催しました。

去る、7月1日(金)14時から、当協会5階大会議室において、東京地下鉄(株)など、11鉄道事業者27名及び(公財)鉄道総合技術研究所5名の参加を得て、「第9回土木部会」を開催しました。

当土木部会は、前々回の第7回土木部会から引き続いて「構築保全の現状と課題」についてのテーマで、札幌市、京都市及び仙台市交通局から発表があり、続いて東京地下鉄(株)から、第7回土木部会において発表した「i padを活用した構築維持管理について」のその後の現状についての報告がありました。

まず初めに、札幌市交通局から、「コンクリート構造物の点検」について、建設時の工区ごとに、中性化試験、塩分含有量試験など5項目について詳細調査実施状況と、今後予防保全の必要性について判断していく旨の報告がありました。



引き続き、京都市交通局から、「構造物の維持管理と補修」について、構造物維持管理の現状報告と予防保全型を前提とした維持管理計画策定の必要性について報告がありました。

また、仙台市交通局から、「構築保全の現状と課題等」について、通常全般検査等により緊急性のあるものについて補修・補強を実施しており、今後、長期的なコストの縮減額を考慮した維持補修計画の策定を検討する

旨の報告がありました。

最後に、東京地下鉄(株)から「トンネルの維持管理におけるICTの導入状況」について、トンネル検査の効率化や検査で得た情報の蓄積など、システム化を図るとともに、i pad等を利用することで検査に関し作業の効率化や標準化を実現しており、さらに、変状等過去の検査結果データなどを統計分析処理した結果を活用することにより、安全の質の向上を図っている状況の報告がありました。

今回の研究会でも、これら報告等に対して活発な質疑応答が交わされるなど有意義な研究会となりました。

平成 28 年度「道路ふれあい月間」の推進標語

【優秀賞（小学生の部）】

この道を 歩けば心も 歩き出す （櫻田 歩維 神奈川県 横浜市立都岡小学校）

(注) 必要に応じ、社内へ転送、回覧などをお願いします。

配信先を変更又は追加した方がよい場合は、新しい配信先の職名、氏名及びメールアドレスをお知らせ下さい。

本短信について、ご意見をお寄せ下さい。

連絡先: mukaida@jametro.or.jp